

令和6年(2024年)8月22日
教育改革推進課

江南中学校・向山小学校・向山幼稚園 魅力ある学校づくり基本計画(骨子)について

1 計画策定の趣旨

江南中学校・向山小学校は、校舎の老朽化のために近く改築が見込まれている。そこで、改築を契機に、こどもたちにとって良好な教育環境を確保するとともに、地域の拠点としての魅力的な学校づくりを行うための基本的な考え方をまとめた基本構想を令和5年(2023年)12月に策定した。

その後も、各校園の校園長及びPTA会長、向山幼稚園の保護者代表、校区自治協議会会長、小中学校の学校評議員等で構成する新校準備会において、新設校の位置や望ましい教育の方向性について検討を重ね、新しい学校における教育の基本的な考え方や施設整備方針をまとめた「江南中学校・向山小学校・向山幼稚園 魅力ある学校づくり基本計画(たたき台)」としてとりまとめた。

なお、江南中学校・向山小学校は、令和2年度(2020年度)から、小中一貫教育がスタートしており、施設一体型義務教育学校への移行や向山幼稚園との一体整備による幼小中連携の形のひとつとしての新たな学校のあり方等を含めた検討を行う。

2 取組の内容について

添付の基本計画(骨子)、基本計画素案(たたき台)のとおり

3 これまでの取組

年	月日	内容	参加者等
令和5年 (2023年)	6月29日	地域・保護者・教職員説明会	地域・保護者・教職員
	10月6日	意見交換会	各校区自治協議会会長、各校園長、各小中学校PTA会長、園保護者代表
	10月25日	江南中ワークショップ	中学1・2年
	11月6日	江南中ワークショップ	中学1・2年
	11月22日	教職員向けワークショップ	各校園教職員
	12月13日	向山幼稚園ワークショップ	年長
	12月19日	向山小ワークショップ	小学3・4・5・6年
	12月7日	第1回新校準備会	各校区自治協議会会長、各校園長、各小中学校PTA会長、園保護者代表
令和6年 (2024年)	12月	基本構想策定	
	2月9日	向山小新入学生保護者説明会	向山小新入生保護者
	2月15日	第2回新校準備会	各校区自治協議会会長、各校園長、各小中学校PTA会長、園保護者代表
	3月5日	向山小・向山幼・保育園・こども園長説明	向山校区の小学校・幼稚園・保育園・こども園長
	6月24日	第3回新校準備会	各校区自治協議会会長、各校園長、各小中学校PTA会長、園保護者代表

4 今後の主なスケジュール

年	月	内容
令和6年 (2023年)	9月	教育委員会会議(基本計画素案の協議)
	11月	教育委員会会議(基本計画案の協議)
	12月	議会(基本計画素案の報告)
	3月	議会(基本計画案の報告)
	3月	教育委員会会議(基本計画案の議決)

江南中学校・向山小学校・向山幼稚園 魅力ある学校づくり基本計画 骨子(案)

1 計画策定の経緯

- 熊本市教育振興基本計画(熊本市教育大綱)の基本理念「豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む」に基づいて施策を展開。
- 老朽化した施設の更新を契機に最適な教育環境を整備。
- 令和5年(2023年)12月に「江南中学校・向山小学校・向山幼稚園 魅力ある学校づくり基本構想」を策定。

2 魅力ある学校づくり基本構想

- 既存小中学校及び既存幼稚園について
- 児童生徒数の将来推計
- 向山校区の特色を活かした魅力ある学校づくりに向けて
- こどもたちとともに創りあげる学校
- 新しい学校における教育の基本的な考え方と施設整備方針
- 児童育成クラブ など

▼児童生徒の将来推計

(単位:人)

施設名	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
江南中学校	241	224	199	221	243	257
向山小学校	496	522	540	546	529	547
合計	737	746	739	767	772	804

※通常学級のみ

▼教育の基本的な考え方と施設整備方針

(1)新しい学びの創造

①小中一貫教育に適した教育環境の整備	○江南中学校・向山小学校は令和2年度(2020年度)から小中一貫教育を実施 ○より良い教育環境を目指し、義務教育学校への移行を目指す
②幼小連携の推進・幼小中一体整備	○向山校区「幼小中一貫教育目標」グランドデザインにて12年間を通した「学びの連続性と指導の一貫性の確立」を基本理念としている ○新しい幼小中連携モデルとして幼稚園、小学校及び中学校の一体整備等を検討
③社会状況の変化に対応する教育環境の整備	○ICTを活用したGIGAスクール構想を踏まえた整備 ○インクルーシブ教育システム・性の多様化の尊重 ○教職員の働く場としての機能向上 ○公共施設の資産総量の適正化

(2)学校・地域の「共創空間」の創造

①地域の歴史・特色をいかした施設整備	○新校準備会等での地域やこどもたちからの意見を踏まえ、地域の歴史や特色となるものを新校に引き継ぐ
②地域の拠点となる機能的な施設整備	○地域に開かれた学校づくりの推進 ○地域の実情に応じた特色ある教育活動の展開
③避難所機能を有した施設整備	○分散備蓄倉庫、貯水機能付給水管、中水道設備(雨水利用)、太陽光発電設備等を検討
④余剰地及び余剰スペースの活用	○敷地全体の効果的な整備を行うため、余剰スペースの活用方法について検討

3 施設整備の基本的な考え方

○計画予定地について

新校の建設候補地については、①江南中学校敷地、②向山小学校・向山幼稚園敷地を想定し、比較検討した結果、相対的に敷地が広く、より良い教育環境の整備が可能な①江南中学校敷地を計画地とします。

江南中学校敷地 敷地面積:23,240 m² (第二種住居地域 建蔽率/容積率 60%/200%)

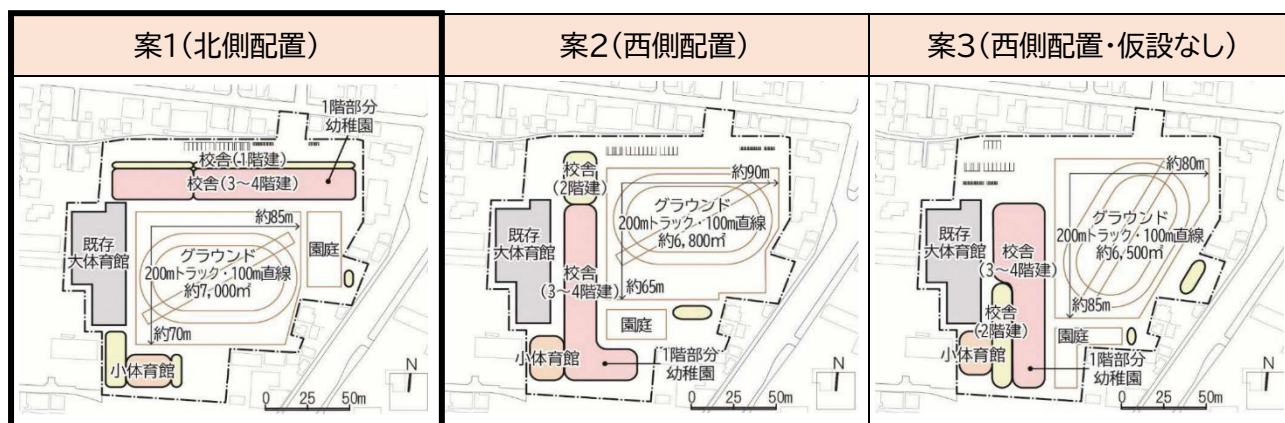
▼想定諸室 ※想定諸室については現時点での想定であり、変更となる場合があります。

エリア	室名
普通教室	通常学級、特別支援学級、少人数教室
特別教室	総合図書館、理科室、図工・美術室、技術室、調理室、被服室、音楽室、各準備室、カウンセリング室、カウンセラー室、多目的活動室
管理諸室	職員室、校長室、事務室、会議室、放送室、保健室、児童生徒会室、教材・物品室、職員更衣室、児童生徒更衣室
体育施設	体育館、更衣室、多目的トイレ、倉庫、武道場、プール
共用部分	昇降口、配膳室、児童生徒会室、児童生徒更衣室、その他共用部
幼稚園	保育室、通級指導教室、遊戯室、職員室、園長室、教材室、職員更衣室
その他	地域連携室、児童育成クラブ、体育倉庫、部室、屋外トイレ
想定面積:約 10,000 m ² ~11,000 m ² 程度	

▼施設の配置計画例

施設一体型義務教育学校の配置については、教室・校庭環境や動線、安全面、仮設校舎の必要性、建設費、工事期間等に関して、新校準備会における意見等を踏まえ、比較検討を進めてきました。

新校舎等の配置比較については教室・校庭 環境や駐車場から新校舎等までの動線などの観点から、新校舎を敷地の北側(江南中学校校舎跡地)に配置する案を前提に検討します。



▼その他の検討事項

○地域連携機能の考え方

既存小・中学校の地域との連携のあり方やカリキュラム等を踏まえて、地域連携室の機能や配置を検討します。

○登下校時の安全性の確保

給食搬送車両を含む自動車、歩行者の通行に配慮し、児童生徒の安全性の確保について検討します。

○環境への配慮

ZEB(Net Zero Energy Building)化等の検討など、再生可能エネルギーの最大限の導入及びエネルギーの効率的な利用等、環境に配慮した計画とします。

4 概算事業費

本事業では、国の補助制度を積極的に活用し財源確保に努めるとともに、有利な市債の活用などの検討を行います。また、民間事業者へのアンケート調査の結果を用いてコスト削減率を算出し、概算事業費を比較検討します。

5 事業手法

本市では、「熊本市公共施設等総合管理計画」、「熊本市公民連携手法活用指針」において、民間の資金やノウハウを活用した PPP/PFI 手法の積極的な導入を推進することとしています。

本事業では、公立学校施設として事業の安定性を確保しつつ、民間事業者の創意工夫及び技術的・経営的能力等を活用することで、質の高い教育の場の提供や効率的な業務遂行による市の財政負担の軽減、工期の短縮等の視点等から、最も効果的な事業手法を検討します。

6 余剰地・余剰スペースの活用

新校準備会において、施設一体型義務教育学校の整備後の向山小学校敷地の一部及び向山幼稚園敷地の有効な活用を検討します。地域からのご意見を踏まえ、向山小学校敷地については、土地の貸付による活用を検討します。

7 事業スケジュール

事業スケジュールについては検討中です。基本構想に示す、スケジュールの最短例は以下のとおりです。

従来手法:最短例

令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)
基本構想 策定	基本計画 策定	基本・ 実施設計		発注 準備	新校舎等建設工事			校庭整備
			解体設計				解体工事	

最短令和 11 年度以降開校

PFI/PPP 手法:最短例

令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)
基本構想 策定	基本計画 策定	事業者 募集等	基本・ 実施設計	新校舎等建設工事			解体工事	校庭整備

最短令和 11 年度以降開校

